

KUDAN CAN-DO リスト (Version. 5)

学年(時期)	第1学年(学年末)	第2学年(学年末)	第3学年(学年末)	第4学年(学年末)	第5学年(学年末)	第6学年(卒業時)
KUDAN CAN-DO	G1	G2	G3	G4	G5	G6
Reading	[R1-1]中学1年生の既習の教科書本文を英語特有の音を正しく発音しながら、英文を音読することができる。	[R1-2]中学2年生の既習の教科書本文をイントネーション、強勢、音変化などを意識して音読することができる。	[R1-3]中学3年生の既習の教科書本文を内容に合わせて感情を込めた音読をすることができる。	[R1-4]3級レベルの英文であれば、モデルとなる音声を1回聞けば、相手に伝わるように音読することができる。	[R1-5]準2級レベルの英文であれば、モデルとなる音声を1回聞けば、相手に伝わるように音読することができる。	[R1-6]準2級レベルの英文であれば、初見であっても相手に伝わるように正しく音読することができる。
	[R2-1]旅行先からのメール文やイラストのついた簡単な物語文を読んで内容を理解することができる。	[R2-2]身近な話題や関心のある文章を読んで概略を理解することができる。	[R2-3]外国の文化などを紹介する説明文を読んで、分からない部分の意味を推測しながら概略を理解することができる。	[R2-4]ガイドブックなど一般向けに書かれた具体的に説明された文章を読んで概略を理解することができる。	[R2-5]日本語の注や説明がついた英字新聞を読んで、興味・関心のある記事の概略を理解することができる。	[R2-6]抽象的で複雑な内容の文章を読んで、時間はかかるがその概略は理解できる。
	[R3-1]公共の施設などにある簡単な表示や掲示を見て、その意味が理解できる。	[R3-2]簡単に描かれた図表から、必要な情報を読みとることができる。	[R3-3]公共の施設などにあるお知らせや注意事項を読んで理解できる。	[R3-4]簡単なチラシやパンフレットを読んで理解できる。	[R3-5]説明書やレシピなど実用的な英文を読んで、必要な情報が理解できる。	[R3-6]やや難しい取り扱い説明書やパンフレットを読んで、必要な情報を理解することができる。
	[R4-1]対話文、手紙文、物語文、説明文の違いを理解しながら読むことができる。	[R4-2]簡単な副読本を楽しみながら読むことができる。	[R4-3]オーストラリアのホストファミリーからの手紙やメールを辞書を使いながら理解することができる。	[R4-4]副読本を読んで、概略を把握したり、分からないところを自分で調べたりすることができる。	[R4-5]英語Ⅱの教科書の単元を要約して日本語で説明することができる。	[R4-6]論説文などを読んで、段落に書かれてあることを把握しながら、その内容を日本語で説明することができる。
	[R5-1]英検4級レベルの文章を50wpm以上のスピードで読んで概略を理解することができる。	[R5-2]英検3級レベルの文章を60wpm以上のスピードで読んで概略を理解することができる。	[R5-3]都立高校の入試問題(600語程度)を80wpm以上のスピードで読んで概略を理解することができる。	[R5-4]英検2級のレベルの文章を90wpm以上のスピードで読んで概略を理解することができる。	[R5-5]センター入試の第6問レベルの問題を120wpm以上のスピードで読んで概略を理解することができる。	[R5-6]センター入試の第6問レベルの問題を140wpm以上のスピードで読んで内容を理解することができる。
Listening	[L1-1]教師の指示を聞いて、適切に応じることができる。	[L1-2]教師による言語材料がコントロールされた口頭導入や活動の説明を聞いて内容をほぼ理解することができる。	[L1-3]授業で教師が述べる英語を聞いて内容をほぼ理解できる。	[L1-4]英語Ⅰの教科書本文のCDを聞いて、概略が理解できる。	[L1-5]英語Ⅱの教科書本文のCDを聞いて、概略が理解できる。	[L1-6]英語Ⅰレベルの教科書本文のCDを聞いて詳細が理解できる。
	[L2-1]名前、家族、好みなどを中心とした自己紹介を聞いて、内容をほぼ理解することができる。	[L2-2]言語材料がコントロールされているスピーチや説明を聞いて、内容を概ね理解することができる。	[L2-3]道案内や何かの説明を聞いて、内容を概ね理解することができる。	[L2-4]身近な話題のまとまりのある英語を聞いて、内容を概ね理解でき、必要ならばメモを取ることができる。	[L2-5]アナウンスを聞いて詳細を理解することができる。	[L2-6]洋画やニュースの英語を聞いて半分以上理解することができる。
	[L3-1]身近な話題についての会話を行い、相手の言うことに適切な相づちをうてる。	[L3-2]身近な話題についての会話を行い、相手に適切な質問をすることができる。	[L3-3]身近な話題についての会話を行い、相手から話を適切に引き出すことができる。	[L3-4]ディスカッションやディベートなどで、相手の述べたいことを理解することができる。	[L3-5]ディスカッションやディベートなどで、相手の述べる要点を理解することができる。	[L3-6]ディスカッションやディベートなどで、相手の述べる要点をメモしながら聞くことができる。
	[L4-1]人やものについての簡単な説明を聞いて、ほぼ理解することができる。	[L4-2]英語合宿で母語話者の説明や指示の英語を聞いて、ほぼ理解することができる。	[L4-3]オーストラリア研修旅行で、ホストファミリーの言うことを聞いて、分からないことを聞き返すことができる。	[L4-4]English Showerで、話題が身近であればその内容をほぼ理解することができる。	[L4-5]English Showerで、話題が少し難しくてもその概略が理解することができる。	[L4-6]English Showerで、話題が少し難しくてもその詳細が理解できる。
	[L5-1]英検4級レベルの英文を聞いて概略を理解することができる。	[L5-2]英検3級レベルの英文を聞いて概略を理解することができる。	[L5-3]英検準2級レベルの英文を聞いて概略を理解することができる。	[L5-4]英検準2級レベルの英文を聞いて詳細をほぼ完全に理解することができる。	[L5-5]英検2級レベルの英文を聞いて概略を理解できる。	[L5-6]英検2級レベルの英文を聞いて詳細をほぼ完全に理解することができる。
Speaking	[S1-1]インタビュー活動などで聞いたことを2文程度で他の生徒にほぼ正しく伝えることができる。	[S1-2]自分の持っている情報を他の人に分かりやすく説明することができる。	[S1-3]教科書の内容について、自分の言葉で適切に説明することができる。(リプロダクション)	[S1-4]教科書の内容について、準備をすればその内容と感想を述べることができる。	[S1-5]教科書の内容について、準備をしなくても簡潔に感想を述べることができる。	[S1-6]読んだことをその内容について、準備をしなくてもその内容や感想を述べることができる。
	[S2-1]教科書の対話文を感情を込めてスキットを演じることができる。	[S2-2]身近な話題で40秒程度のスピーチを、事前に準備すればすることができる。	[S2-3]準備をすれば商品やアンケートの調査結果などを説明するプレゼンテーションができる。	[S2-4]200語程度の物語文を感情を込めて暗唱発表することができる。	[S2-5]自分の意見を具体的な根拠をあげ、3部構成(序論、本論、結論)で説得力のあるスピーチができる。	[S2-6]5分程度のスピーチを相手を惹き付けながら行うことができる。
	[S3-1]身近な話題についてのチャットを二人で協力して1分以上継続することができる。	[S3-2]身近な話題についていくつかの会話技術を使いながら二人で協力して2分以上継続することができる。	[S3-3]身近な話題について三人以上のグループで協力しながら5分以上チャットを続けることができる。	[S3-4]身近な話題であれば、相手の反応を見ながら補足説明をしながら話を行うことができる。	[S3-5]さまざまな話題について、相手に合わせながら5分以上対話をすることができる。	[S3-6]相手から質問されたことについて、相手の持っている情報量に合わせて話をするすることができる。
	[S4-1]English Showerなどで、初対面の相手にあいさつや簡単な自己紹介ができる。	[S4-2]English Showerや英語合宿などで、相手に聞かれたことに適切に答えることができる。	[S4-3]オーストラリア研修旅行で、日本や学校、家族などに関する基本的なことを相手に伝えることができる。	[S4-4]ディベートにおいて自分の意見を相手に分かりやすく話すことができる。	[S4-5]ディベートにおいて、論題に対して200語程度の立論スピーチをすることができる。	[S4-6]社会で取り上げられている身近な問題についてディスカッションやフォーマル・ディベートができる。
	[S5-1]英検3級の面接テストの4、5の質問をされて、2文程度で答えることができる。	[S5-2]英検3級の面接テストの4、5の質問に対して、3文以上で適切に答えることができる。	[S5-3]英検準2級の面接テストのイラストの描写問題(2)で、ほぼ正しく説明することができる。	[S5-4]英検2級の面接テストのイラストの描写問題(2)で、ほぼ正しく説明することができる。	[S5-5]英検2級の面接テストの3、4で、質問に対して適切な応答が3文以上でできる。	[S5-6]英検準1級の面接テストのイラスト描写問題(1)で、ほぼ正しく説明することができる。
Writing	[W1-1]教科書の本文を参考にして、単語を入れ替えて自分に当てはまる英文を書くことができる。	[W1-2]教科書の対話文の続きを創作して2ターン程度加えて書くことができる。	[W1-3]人やものを説明する英文において、接続詞や修飾語句を使って情報量の多い文を書くことができる。	[W1-4]適切に引用しながら、教科書などのテキストの要約文を書くことができる。	[W1-5]教科書などの物語文の要約文をさまざまな表現を使って書くことができる。	[W1-6]読んだ本の概略を読み手に分かりやすく書くことができる。
	[W2-1]適切に符号をつけて英文を読み手に分かりやすい文字で書くことができる。	[W2-2]クリスマスカードや招待状などを書くことができる。	[W2-3]簡単な予定を手帳やカレンダーなどに書くことができる。	[W2-4]自分の経験や気持ちが読み手に十分に伝わるような回想文を書くことができる。	[W2-5]相手を説得するための手紙文やメール文を書くことができる。	[W2-6]レシピや器具の使い方などを読み手に分かりやすく書くことができる。
	[W3-1]5ターン程度の創作スキットを他の生徒と協力して書くことができる。	[W3-2]12文(80語)程度のスピーチ文を聞き手に分かりやすく書くことができる。	[W3-3]何かを説明するプレゼンテーション用の原稿を聞き手が理解しやすい構成で書くことができる。	[W3-4]教科書に書かれてあることの要点と自分の感想を述べるためのスピーチ原稿を書くことができる。	[W3-5]3部構成(序論、本論、結論)で説得力のある300語程度のスピーチ原稿を書くことができる。	[W3-6]500語程度のスピーチ原稿を聞き手を惹き付けられるような工夫をして書くことができる。
	[W4-1]自己紹介の掲示用ポスターを書くことができる。	[W4-2]長期休業中に自分のしたことを英語新聞に読みやすく書くことができる。	[W4-3]自分の伝えたいことを辞書などを利用して、ホストファミリーにEメールや手紙を書くことができる。	[W4-4]社会の出来事や自分の興味を持っていることを英語新聞にまとめることができる。	[W4-5]根拠をはっきりさせ、例を用いた立論スピーチの原稿を書くことができる。	[W4-6]興味のあることについての1,000語程度の簡単な論文を書くことができる。
	[W5-1]身近な話題について、相手に誤解を与えないように10文程度の英文を書くことができる。	[W5-2]理由を述べるなどの情報を加えた10文程度の文章を相手に伝わるように書くことができる。	[W5-3]身近な話題であれば80語程度の英作文を20分以内で書くことができる。	[W5-4]身近な話題であれば100語以上の英作文を20分以内で書くことができる。	[W5-5]賛成・反対を述べる話題であれば、100語以上の文章を20分以内に分かりやすい構成で書くことができる。	[W5-6]社会性のある話題について200語以上の文章を30分以内に論理的な構成で書くことができる。